

地政学から見るスリランカ政治

植民地支配、分離独立主義と国民統合問題、政治経済危機

ばすましり じゃやせーな (Pathmasiri Jayasena)

内容

スリランカはインド洋に浮かぶ島国で、日本、欧米諸国、中国といった大国の政治的・経済的影響を強く受けている。スリランカの政治は、植民地支配や民族対立、その他の複雑な要因によって混乱してきたが、本書ではスリランカの政治を地政学的・歴史的に分析し、日本や超大国との関係におけるスリランカの立場と役割を考察する。

—主な目次—

- スリランカ地図
- 主要略語一覧
- 第1章 地政学と英米諸国の世界覇権から見るスリランカ
- 第2章 アイデンティティのダイナミズム — スリランカ国民・国家の成り立ち
- 第3章 植民地支配の負の歴史 — 分断社会はいかに生まれたのか
- 第4章 独立後のスリランカ政治 — 民族対立・分離主義と LTTE のテロを中心に
- 第5章 LTTE の打倒とその後のスリランカの政治 — スリランカが抱える内憂外患
- 第6章 インド洋圏における大国間競争とスリランカ
- 第7章 インド太平洋時代における日本とスリランカの関係

地政学から見る スリランカ政治

植民地支配、分離独立主義と国民統合問題、政治経済危機

ばすましり じゃやせーな

Pathmasiri Jayasena

大国間競争から見えてくる スリランカ危機の不都合な真実 日本はどう動くべきか？

これまでの歴史的経緯と地政学的な枠組みから解釈、
四半世紀にわたる筆者独自の分析による一冊！

大学教育出版